

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年8月26日 (2010.8.26)

【公表番号】特表2010-503441 (P2010-503441A)
 【公表日】平成22年2月4日 (2010.2.4)
 【年通号数】公開・登録公報2010-005
 【出願番号】特願2009-527858 (P2009-527858)
 【国際特許分類】

A 6 1 L 9/03 (2006.01)
 F 2 3 D 3/08 (2006.01)
 A 0 1 M 1/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 L 9/03
 F 2 3 D 3/08 6 3 0 H
 A 0 1 M 1/00 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成22年6月28日 (2010.6.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 3 2 】

シール 5、5 a、5 b の貫通孔 1 1 及び芯材 6 の端部は、上記リザーバの内部体積と外部との間の流体連通手段を構成することで、詰め替え品 3 a が使用されるるときに燃料の揮発を促進する。上記リザーバの頂部に対してストッパ 7 を固定すると、詰め替え品 3 a が保存されるときに該詰め替え品の全体的な液密性を実現することが可能となり、該ストッパ 7 は詰め替え品 3 a をハウジング 1 に嵌合し得るべく取り外される。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 4 2 】

芯材 6 を補強する上記手段は図 6 に示されたセラミック管材 6 c とされ得、該管材 6 c は、拡散ヘッド 2 に対する香り付き燃料の移送が織物芯材 6 a と該セラミック管材 6 c との両者により確実にされるように、両端部に開放されている。この差違は拡散ヘッド 2 の機能に関して何らの実質的な影響を有さない、と言うのも、セラミック管材 6 c は主として、織物芯材 6 a をシール 5 内に且つ拡散ヘッド 2 を芯材 6 a 上に位置決めする役割を果たすからである。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 5 9 】

拡散ヘッド 2 上には火炎減少器 2 1 が配備されることで、点火炎の制御が可能となる（図 1 3 及び図 1 4 を参照）。火炎減少器 2 1 は、拡散ヘッド 2 に対して固定され得るか又

は拡散ヘッド 2 と共に単一片の組立体を形成し得る独立的構造を構成する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

火炎減少器 21 は拡散ヘッド 2 を圍繞し、複数の孔 6 が貫通する管材で構成される（図 13 及び図 14 を参照）。孔 6 の存在は、拡散ヘッド 2 に対して空気取入口を制御することにより点火炎に作用する一方、拡散ヘッド 2 の全ての領域に亘る香り付き燃料の良好な燃焼及び拡散を可能にする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

拡散ヘッド 2 は、触媒式燃焼を提供する白金の如き貴金属から成る燃焼区域 2a と、貴金属を欠く気化区域 2b とから構成される（図 13 及び図 14）。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

詰め替え品 3a をハウジング 1 内に挿入するためには、該詰め替え品 3a を格納するストッパ 7 が取り外されねばならない。すると、拡散段階同士の間において、詰め替え品 3a に収容された燃料は芯材 6 とシール 5 における貫通孔 10 とを通して揮発することがある。但し、拡散段階同士の間における燃料の揮発は、詰め替え品 3a がハウジング 1 内に挿入されたときに上記拡散器のストッパ 26 を装着して該詰め替え品のシール閉塞を提供することにより、防止され得る。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

気化されるべき液体を収容するリザーバ（4、27）であって、前記気化されるべき液体内に浸漬された第 1 端部及び当該リザーバ（4、27）の外部にある第 2 端部を備えた芯材（6、29）を有するリザーバ（4、27）と、

触媒式燃焼区域及び気化区域を備えた拡散ヘッド（2）と、

を具備する、揮発性材料の放出を可能にする触媒式燃焼により物質を拡散させる拡散器において、

前記拡散ヘッド（2）が前記芯材の前記第 2 端部に対して着脱自在に接続されることを特徴とする拡散器。

【請求項 2】

前記芯材（6、29）が前記リザーバ（4、27）用の閉塞要素により前記リザーバに対して固定して維持されることを特徴とする請求項 1 に記載の拡散器。

【請求項 3】

前記リザーバ（４、２７）と前記閉塞要素と前記芯材（６、２９）とが、密封された詰め替え品（３ａ、３ｂ）を構成すべく取り外せないように組立てられていることを特徴とする請求項１又は２に記載の拡散器。

【請求項４】

前記拡散ヘッド（２）が保護ハウジング（１）により少なくとも部分的に、前記芯材（６、２９）の前記第２端部に対して近接して又は該第２端部上に維持され、前記ハウジングが前記詰め替え品（３ａ、３ｂ）を収容する本体（１ａ）を具備することを特徴とする請求項３に記載の拡散器。

【請求項５】

前記ハウジング（１）が、前記拡散ヘッド（２）を着脱自在に保持する支持要素（１ｂ）を具備することを特徴とする請求項４に記載の拡散器。

【請求項６】

前記支持要素（１ｂ）が、前記芯材（６、２９）を通過させる貫通孔（１０ａ）を具備することを特徴とする請求項５に記載の拡散器。

【請求項７】

前記支持要素（１ｂ）及び前記本体（１ａ）が単一片の組立体を形成することを特徴とする請求項５又は６に記載の拡散器。

【請求項８】

前記本体（１a）が、その底部において、前記リザーバ（４、２７）の挿入を可能にする開口（１６）を備えることを特徴とする請求項４乃至７のいずれか一項に記載の拡散器。

【請求項９】

前記本体（１ａ）が、その頂部において、前記リザーバ（４、２７）の挿入を可能にする開口（１３ｃ）を備えることを特徴とする請求項４乃至７のいずれか一項に記載の拡散器。

【請求項１０】

前記芯材（６、２９）の少なくとも前記第２端部が、該芯材（６、２９）を補強する手段を備えることを特徴とする請求項１乃至９のいずれか一項に記載の拡散器。

【請求項１１】

当該拡散器が、外側の有孔要素（４４）に関して内側の有孔要素（４３）を回転することにより閉塞され得る貫通孔を有する有孔カバー（４２）を具備することを特徴とする請求項１乃至１０のいずれか一項に記載の拡散器。

【請求項１２】

前記拡散ヘッド（２）が、該拡散ヘッドの点火炎の強度を調整する調節可能な火炎減少器（２１、４０）を備えることを特徴とする請求項１乃至１１のいずれか一項に記載の拡散器。

【請求項１３】

請求項１乃至１２のいずれか一項に記載の触媒燃焼式拡散器のための詰め替え品（３ａ、３ｂ）。

【請求項１４】

当該詰め替え品が、格納位置において前記液体が気化されることを防止すべく前記芯材（６、２９）の少なくとも前記第２端部の頂部に装着するストッパ（７、２６、３１）を備えることを特徴とする請求項１４に記載の詰め替え品（３ａ、３ｂ）。